

令和2年度第9回教育委員会定例会 会議録

◇ **開催年月日** 令和2年12月17日(木) 16時00分開会
17時10分閉会

◇ **開催の場所** 女性第一・第二研修室

◇ **出席者**

| | |
|-----|-------|
| 教育長 | 杉元 羊一 |
| 委員 | 津曲 貞利 |
| 委員 | 桃木野 聡 |
| 委員 | 小栗 有子 |
| 委員 | 立元 千帆 |

◇ **説明のため出席した者の職氏名**

| | | | |
|----------|-------|--------------|-------|
| 管理部長 | 中 豊司 | 教育部長 | 大脇 俊朗 |
| 総務課長 | 奥 眞一 | 施設課長 | 矢崎 順一 |
| 文化財課長 | 池田 雅光 | 美術館副館長 | 久保田 稔 |
| 図書館副館長 | 有満 弓恵 | 学務課長 | 辻 慎一郎 |
| 学校教育課長 | 山下 聖和 | 保健体育課長 | 池田 隆 |
| 青少年課長 | 猿渡 功 | 生涯学習課長 | 牛堀 隆弘 |
| 少年自然の家所長 | 西國原 学 | 中央学校給食センター所長 | 川口 孝 |

◇ **書記**

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 総務課主幹 | 竹村 香帆 | 総務課主査 | 梅山 寛之 |
|-------|-------|-------|-------|

◇ 議事日程

- 1 開 会
- 2 会議成立の宣言
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会議の公開等について
- 5 議 案
 - 定第 4 9 号議案 代決処分の承認を求める件
〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件〕
 - 定第 5 0 号議案 令和 2 年度鹿児島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の教育委員会表彰の件
- 6 報告事項
 - (1) 第二次教育振興基本計画策定に係る「教育に関する市民意識調査」の結果について
 - (2) 教育委員会活動の点検・評価（二次評価）について
 - (3) 教育委員会関係訴訟の現況について
 - (4) 市立学校の自然災害における一斉臨時休業の判断基準について
 - (5) 第 2 1 回環境美化教育優良校等文部科学大臣表彰について
 - (6) 令和 2 年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について
 - (7) かごしま創志塾・ジュニア創志塾について
 - (8) 市議会関係の審議結果等について
 - (9) 教育委員会関係の主な行事について
- 7 その他
- 8 閉 会

◇ 会議要旨

1 開会

教育長 それではただいまから、令和2年度第9回教育委員会定例会を開会いたします。

2 会議成立の宣言

教育長 本日は全員出席しており、定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりでございます。

3 会議録署名者の指名

教育長 本日の会議録署名は、津曲委員と立元委員をお願いします。

4 会議の公開等について

教育長 次に、会議の非公開についてですが、定第49号議案及び50号議案は人事・人選等に関する案件、報告事項(3)は、個人情報の保護を要する案件でありますので、非公開で傍聴を禁止する取扱いとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 ご異議もないので、そのように取り扱います。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

5 議案

定第49号議案 代決処分の承認を求める件〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件〕

承認

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第50号議案 令和2年度鹿児島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の教育委員会表彰の件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 報告事項

(3) 教育委員会関係訴訟の現況について

【 本 報 告 は 非 公 開 】



(1) 第二次教育振興基本計画策定に係る「教育に関する市民意識調査」の結果について

教育長 次に、報告事項（１）について、奥総務課長、説明をお願いします。

事務局（総務課長） はい。報告事項（１）の第二次教育振興基本計画策定に係る「教育に関する市民意識調査」の結果について報告いたします。報告事項関係資料（１）をご覧ください。７月に実施しました「教育に関する市民意識調査」の概要版でございます。まず、一番後ろの７ページをご覧ください。中ほどの「調査の概要」についてご説明いたします。６月の第３回定例会でご説明した今回の調査は、市民の教育に対する満足度、教育の課題に対する意向、教育行政に対する期待・要望など、教育に関する市民意識を把握し、計画の策定に活用するため、調査地域を市内全域とし、７月１０日から７月３１日までの期間で実施いたしました。回答者の属性は、学校教育、社会教育、生涯学習等の関係者や市民、併せて

３，０００人を対象に実施し、１，７０９人から回答をいただきました。性別、年齢、居住地域・地区ごとの分類をお目通しください。それでは、表紙を開けた１ページをご覧ください。「１ 幼児教育に関して」から３ページの「５ 特別支援教育に関して」、現状についてと、どのようなことに力を入れていけばよいかについての回答結果をグラフで示しております。現状については、「満足している」と「ほぼ満足している」を併せた割合を「満足意向」とし、「どちらかと言えば不満である」と「不満である」を合わせた割合を「不満意向」としますと、幼児教育から特別支援教育までの全てで、「満足意向」が「不満意向」を上回る結果となっております。また、過去２回の調査との比較でも、幼児教育から特別支援教育までの全てで、「満足意向」は増加傾向、「不満意向」は減少傾向となっております。どのようなことに力を入れていけばよいかについては、幼児教育では「遊びを中心とした多彩な経験を積ませる」が、小学校教育では「道徳心や社会性を育てる」が、中学校教育では「あいさつ、時間・金銭管理などの生活習慣や、責任感、正しい言葉遣いなどを身に付けさせる」が、高等学校教育では「主体的に進路や生き方を選択する能力・態度を育てる」が、特別支援教育では「一人一人の教育的ニーズに応じた教育的支援が受けられるような適切な就学指導を推進する」が最も高くなっております。次に３ページの下学校教育全般をご覧ください。「学校の安全についてどのようなことに力を入れたらよいか」では、「家庭・地域との連携により学校内外の安全

を確保する」が、次の「望ましいと思う教員像」では「子どもたちに対して公平であり、子どもたちから信頼される教員」が最も高くなっております。4ページから6ページ上段までは、「第2 青少年教育と体験活動の充実」、「第3 家庭・地域の教育力」、「第4 生涯学習」、「第5 文化・芸術」について回答結果を記載しておりますので、後ほどお目通しをお願いいたします。次に6ページ中ほどの「第6 教育全般」をご覧ください。「子どもの教育について悩んでいること」については「将来の進路に関すること」が最も高く、以下「勉強に関すること」、「教育費の負担」と続いており、3回の調査を比較すると「将来の進路に関すること」、「勉強に関すること」、「子どもとの接し方」、「いじめ、問題行動など」が増加傾向にありました。「これからの子どもたちにとって必要とされる資質・能力」については、「他人を思いやる心、感動する心、ボランティア精神など、豊かな心」が最も高く、以下「自ら考え判断する力」、「自分の考えを的確に相手に伝える力」と続いており、3回の調査を比較すると、「自ら考え判断する力」、「自分の考えを的確に相手に伝える力」、「自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ力」が増加傾向にありました。「子どもたちの健全育成に必要なこと」については、「仲間づくりや人間関係づくり」が最も高く、以下「学校での集団生活を通じて、基本的な生活習慣や集団のきまりを身に付けさせること」、「生活体験や社会体験、自然体験活動の充実」と続いており、3回の調査を比較すると「仲間づくりや人間関係づくり」、「生活体験や社会体験、自然体験活動の充実」、「道徳教育の充実」が増加傾向にありました。7ページをご覧ください。「これからの鹿児島市の教育にどのような人づくりを期待するか」については、「自ら学び考え、行動する人」が最も高く、以下「社会のルールを大切にし、道徳心のある人」、「責任感や使命感をもっている人」と続いております。この設問については、選択肢の変更をしたため、過去の調査との比較はございません。今回の結果を、来年度にかけて行う次期計画の策定に向けて活用してまいりたいと考えております。報告は以上でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

委員 次期計画の策定に向けて、これをどのような形で活用していくのかお聞かせください。

事務局（総務課長） 新しい計画は令和4年度からのものになり、今年度から計画の策定を進めておりますけれども、今回の調査は、過去の調査結果とも大きく変わってではなく、大体満足しているという傾向がありましたので、そういったものは大事にしながら、例えば、4ページの「第3 家庭・地域の教育力」のところでは、「十分に出来ている」という数値が大きく伸びたり、そういう傾向もございまして、現在実施している施策がそのまま生かされるのかどうか検討するにあたり活用していきます。また、市民の皆様からのご意見も踏まえて新しい計画を作っていきたいと考えております。

委員 この計画の使い方と分析の仕方に関して2点お聞かせください。1点目は、次期計画を作る際に今期の評価が必要になってくるとは思いますが、何をどこま

で計画して何が課題なのかということは、この調査結果を通して評価していく必要があると思います。2点目は、クロス集計もされていると思いますが、世代別の考え方、場合によっては地域別の考え方も見ないと、なかなか実態を掴みにくいと思いますので、そこの評価を行っていただきたいと思います。また、一次集計のデータも共有した方が良いのではないかと思います。次期計画を考える際に、全ての世代で鹿児島県の教育をどうしていくのかということの思索が必要だと思います。

事務局（総務課長） まず、現在の計画につきましては、今年度において37の施策を二次評価という形で委員の皆様方に評価していただく予定です。クロス集計も行っておりますので、今後活用していきたいと考えております。

教育長 他に何かございますか。
（なしの声あり）

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(2) 教育委員会活動の点検・評価（二次評価）について

教育長 次に、報告事項（2）につきまして、引き続き奥総務課長、説明をお願いします。

事務局（総務課長） はい。教育委員会活動の点検・評価二次評価についてご説明いたします。まず、点検・評価について改めてご説明いたします。

教育委員会活動の点検・評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が毎年、教育に関する事務について、点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出・公表することとなっております。今年度の評価対象は、教育振興基本計画に掲げる37の施策としており、平成28年度から令和元年度までを総括して評価を行い、次期計画策定に向けた検討において活用することとしております。評価につきましては、所管課による一次評価、教育に関する学識経験者等からの意見聴取、教育長及び教育委員による二次評価を行い、教育委員会会議で議決いただき、公表という流れとなっております。現在、学識経験者等からの意見聴取は終了したところでございます。それでは、別紙の報告事項関係資料（2）の教育委員会活動の点検・評価スケジュールをご覧ください。二次評価の会議を令和3年1月21日木曜日の13時から15時45分に開催する予定で、道徳教育から生涯学習環境の充実までの37の施策の評価、そして最後に、全体を通しての意見まとめをお願いしたいと考えております。次に、施策別総括点検・評価シートをご覧ください。こちらは「道徳教育の充実」のものでございますが、この資料の2ページの「5 平成28年度から令和元年度の評価等」の二次評価の欄を、1ページの「3 数値目標に係る達成状況」、「4 主な成果指標の達成状況」に加え、施策全体の取組状況を踏まえ、AからCで評価いただくこ

とになります。また、3ページには、「教育行政評価会議での主な質疑」と「教育行政評価会議の意見」を示してありますのでこちらも参考にさせていただきたいと思っております。なお、学識経験者等による教育行政評価会議では、37施策のうち主たる20施策を協議し意見をまとめてありますので、残りの17施策の「施策別総括点検・評価シート」には、意見等は記載されておられません。1月21日の二次評価会議では、限られた時間で37施策を評価いただくことから、今月中に全ての「施策別総括点検・評価シート」を紙ベースとデータで事前にお送りしたいと考えております。気になる点や質問事項を、1月8日までにメール等いただきまして、1月21日は、質問等への回答を行いながら、評価をしていただきたいと考えております。年末年始でお忙しいところ誠に申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。説明は以上でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

委員 昨年度初めて評価に携わらせていただいて、そのときにいくつか評価のプロセスについて意見を申し上げた記憶があります。一次評価をされているので、一次評価で議論したことを受けて二次評価をした方が良いのかなと思っておりますのでよろしくをお願いします。

教育長 奥総務課長、教育行政評価会議のメンバーを教えてください。

事務局（総務課長） はい。学識経験者、校長先生、PTAの関係者、社会教育関係者、合わせて5名の方で評価をいただいております。委員の皆様には、全部で37施策分お渡しする形になります。こちらの3ページに、教育行政評価会議の意見等が、どのような意見であったのか、どのような質疑があったのか、意見はどのような形でまとめたのかということに記載しております。先ほども申し上げましたとおり、こちらには37施策のうち20施策しか記載していません。一次評価につきましては、この2ページの一番上のところに表があります。「道徳教育」でいきますと、一次評価はAとなります。このAにつきましては、基本的に1ページの3番目に「数値目標」がありますが、この「数値目標」がどのように達成されたかということで、Aという評価であったり、Bという評価であったり、Cという評価を付けさせていただいております。二次評価におきましては、この「数値目標」に加え、施策全体のことも踏まえて、教育行政評価会議の検討も踏まえ、最終的にA、B、Cの評価をいただくという形になっております。

教育長 他に何かございますか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(4) 市立学校の自然災害における一斉臨時休業の判断基準について

教育長 次に、報告事項（４）につきまして、山下学校教育課長、説明をお願いします。

事務局（学校教育課長） はい。「市立学校の自然災害における一斉臨時休業の判断基準」を策定しましたので報告いたします。別紙の報告事項関係資料（４）をご覧ください。１の策定の目的をご覧ください。災害等により、市内全域に重大な被害が発生する恐れが生じた際に、児童生徒の安全確保に向け、市として統一した対応が取れるよう判断基準を策定いたしました。２の一斉臨時休業の判断基準と連絡体制等をご覧ください。判断基準は、鹿児島市に災害対策本部が設置され、表の中に記載してある避難情報が発令された、又は、発令される場合に、一斉臨時休業とすることとしました。連絡体制につきましては、２ページにありますように、災害対策本部からの情報が学校関係者に迅速に伝わるよう、関係各課、学校間で連携を図るよういたします。なお、学校には、３ページにある判断基準の概要版も配布いたします。また、今後は、国の最新の情報等に基づきながら、随時、内容の見直しを図っていく予定です。以上でございます。

教育長 なお、２ページの５をご覧くださいと思います。学校が、校長裁量で行えるという規定が学校教育法の施行規則にあります。それを何ら妨げるものではないので、学校長の判断で、一斉休業の前に休業することも可能でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

（なしの声あり）

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(5) 第 2 1 回環境美化教育優良校等文部科学大臣表彰について

教育長 次に、報告事項（５）につきまして、引き続き山下学校教育課長、説明をお願いします。

事務局（学校教育課長） はい。このたび、西伊敷小学校が第 2 1 回環境美化教育優良校等文部科学大臣表彰を本県で初めて受賞しましたので報告いたします。別紙の報告事項関係資料（５）をご覧ください。１の被表彰団体は、今紹介したとおりです。２の主催は、公益社団法人食品容器環境美化協会、後援は文部科学省、農林水産省、環境省でございます。４の趣旨をご覧ください。環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、公共の場所の美化または飲料あき容器等のリサイクルを実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、31校を表彰するものでございます。５の西伊敷小学校の具体的取組をご覧ください。今回の表彰は、西伊敷小学校のリサイクル推進活動が評価された

ものであり、同校は、アルミ缶、新聞紙等の回収を学校創立以来PTAと連携し実施しております。回収による益金は、アフガニスタンの子どもたちへランドセルを贈る活動の送料、プールの生き物救出調査で使用する用具の購入費等に充てております。また、イオン九州の「ペットボトルキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう」キャンペーンや、ニチバンの「テープの巻芯を集めて緑の地球を守ろう！」等にも参加しております。以上でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

委員 こういった地道な取組が評価されるのは、現場にとってとても励みになるのではないかと思います。こういったものは、誰が推薦されているのでしょうか。

事務局（学校教育課長） 今回の場合は、学校からこのような取組をしているとの報告があり、私どもが推薦しましたが、学校が直接応募する場合もございます。

委員 学校現場ですごく頑張っているものを、学校で上げる場合もあれば、上げない場合もあると思うので、そういったものは積極的に拾い上げていくことが大事だと思います。

教育長 他にございませんか。

（なしの声あり）

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(6) 令和2年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について

教育長 次に、報告事項（6）につきまして、池田保健体育課長、説明をお願いします。

事務局（保健体育課長） はい。報告事項関係資料（6）をご覧ください。令和2年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について報告いたします。まず、1の学校保健表彰です。この表彰は、学校保健の普及と向上に尽力し、多大な成果を上げた個人、学校、及び団体を表彰するものでございます。本年度、学校部門といたしまして、鹿児島市立桜丘中学校が受賞いたしました。桜丘中学校は、充実した職員研修や養護教諭、栄養教諭によるチーム・ティーチングの指導が積極的に行われていること、生徒保健委員会による「午睡タイム」の実施や「生活リズムに関する調査」などの取組における功績が認められたものでございます。また、学校歯科医部門といたしまして、原良小学校の、湯田季明（ゆだ すえあき）学校歯科医が、永年の功績が認められ受賞されました。次に、2の学校安全表彰についてでございますが、この表彰は、学校安全の普及と向上に尽力し、多大な成果を上げた個人、学校、及び団体を表彰するものでございます。本年度、学校安全ボランティア団体部門といたしまして、伊敷小学校区の伊敷町仮屋町内会が受賞しております。伊敷町仮屋町内会は、平成20年4月から平日における児童の見守り活動を開始し、平成30年度からは、

「おごじょ隊」も加わった充実した活動を行っていることや、学校や警察と連携した活動による功績が認められたものでございます。なお、これらは、令和3年2月10日水曜日に県民交流センターで開催されます、第17回鹿児島県健康教育研究大会において、表彰を伝達される予定でございます。以上でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(7) かごしま創志塾・ジュニア創志塾について

教育長 次に、報告事項(7)につきまして、西國原少年自然の家所長、説明をお願いします。

事務局(少年自然の家所長) はい。それでは、かごしま創志塾・ジュニア創志塾について報告いたします。報告事項関係資料(7)をご覧ください。かごしま創志塾・ジュニア創志塾につきましては、例年8月から実施しておりましたが、本年度は、定員の縮小や実施期間を短縮するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、10月から12月までの期間、3つのステージで実施計画し、現在、第2ステージまで終了しております。別にお配りしております講演会資料をご覧ください。第3ステージの12月20日日曜日13時30分から15時まで、TBS番組「ひるおび」で、コメンテーターとしても活躍中であるサイエンス作家の竹内 薫(たけうち かおる)氏をお招きし、「未来で働くために必要なこと～今存在しない職業に就く君たちへ～」という演題で、特別講演を計画しているところでございます。関係資料(7)に戻ります。最後になりますが、第1ステージの10月17日土曜日には、立元委員に「生き残りをかけて」という演題で、講演をしていただきました。塾生からは、「自己の特性に合わせて、人生の選択をしていきたい」「時代のニーズを的確に捉え、実行することが大切である。」「今後の生き方を考えるよい機会になった。」などの感想がありました。塾生は、立元委員の講話に感激し、夢や志を実現するための具体的なイメージや決意を新たにしたところです。ありがとうございました。なお、20日日曜日の午前中には、塾生はそれぞれ、自分の夢を英語や日本語で発表することにしております。以上で報告を終わります。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

教育長 立元委員、塾生と接してみて何か感想はございますか。

委員 塾生の皆さんはモチベーションが非常に高く、感激しました。

教育長 他にございませんか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(8) 市議会関係の審議結果等について

教育長 次に、報告事項（8）につきまして、中管理部長、説明をお願いします。

事務局（管理部長） はい。議案綴りの7ページをご覧ください。報告事項（8）市議会関係の審議結果等についてご説明します。令和2年第4回市議会定例会が12月2日から開催されておりまして、来週12月21日が最終本会議の予定となっております。本会議の個人質疑におきましては、約50問の質疑がありまして、主なものとしましては、「余裕教室の活用」、「学力検査実施事業」、「学校給食の安心安全」、「新成人のつどい」などについて質問がありました。市民文教委員会では、前回お知らせしました、「公の施設の指定管理者の指定に関する件」と、「モバイル無線LANルータ購入の件」などの質疑等が交わされました。以上です。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

(なしの声あり)

教育長 それでは、次の報告事項に移ります。



(9) 教育委員会関係の主な行事について

教育長 次に、報告事項（9）につきまして、引き続き中管理部長、説明をお願いします。

事務局（管理部長） はい。引き続き議案つづりの7ページをご覧ください。報告事項（9）教育委員会関係の主な行事につきまして、2つご説明いたします。まず、「新成人のつどい」を、1月10日日曜日に、川商ホールで開催する予定としております。2部制にしまして、収容人数の50%での実施、スマートフォン等での事前登録による参加者の把握など、感染症対策を十分に行った上で実施いたしますが、今後の感染状況等により、直前の中止や県外からの参加自粛要請も想定されるところです。なお、当日は、鹿児島にゆかりのある2人からいただいたビデオメッセージも流す予定です。この2人とは、歌手のAI（アイ）さんと、上白石萌音（かみしらいし もね）さんです。次に8ページでございますが、令和2年度鹿児島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の教育委員会表彰の表彰式を、1月20日水曜日に、教育総合センター体育室で行います。説明は以上でございます。

教育長 この件につきまして、委員の皆さんから何かお尋ねになりたいことがありますか。

(なしの声あり)

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

7 その他

教育長 議案審議及び報告事項は以上でございますが、その他、委員の皆さんから何かございませんか。

委員 今回の市長選挙で16年振りに新しい市長になり、マニフェストも出ております。教育については、たくましい鹿児島の子をつくるということで、6項目挙げています。他にも、保育とか、教育に関連しているところが少しあります。このマニフェストについて、教育委員会として、今の状況や課題、進んでいるものについての報告とか、そういったものを取り揃えておく必要があると思えますがいかがでしょうか。

教育長 管理部長、お願いします。

事務局(管理部長) 現在、市長部局とも連携しながら、次期市長のマニフェストを踏まえて、事業等の構想を練っている段階です。

委員 意見ですけれども、新しい市長になられたということで、これは市民の負託を受けたということですから、マニフェストにあることをきちっとやらないといけないと思います。一方では、市民全体の意見というものもあります。やはり市民の声をきちっと広く聴くということは極めて重要だと思っております。加えて、先生方を中心とした方々の責任と自信、これは、非常に重要だと思っております。市長、そして市民、学生、そして作り手の教育委員会が三位一体となって、教育というものを進めていくべきだと思います。そういう面では、やはり、教育委員会としてしっかりした意見を構築していくべきですし、今までの進め方に自信を持ってよろしいと思いますし、頑張ってやられていると思います。令和4年に、また新しい教育振興基本計画を作ることですが、マニフェストも大事にしながら、実態調査と今までの方向性を検証しながら、良いものはきちんと残していくということを是非考えていただきたいと思っております。令和4年の教育振興基本計画は非常に重要なものだということを認識いただき、教育委員会の皆さんがこれまでやってきたものの責任と自信を持って進んでいただきたいと思えます。

教育長 ありがとうございます。

他に委員の皆さんからございませんか。

(なしの声あり)

教育長 最後に、事務局から何かありますか。

事務局 それでは、次回の日程についてご連絡いたします。次回の教育委員会定例会は、1月21日木曜日16時からを予定しております。

以上でございます。

8 閉会

教育長 本日は、年末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
委員の皆さんには、健やかに年末年始をお過ごしいただきたいと思います。
それでは、以上をもちまして、本日の定例会を終了いたします。ありがとうございました。

【以上】